

【八千代市第2次健康まちづくりプランの最終評価(歯科部分抜粋)】

評価方法

第2次プランでは、「すこやか親子世代」「はつらつ成年世代」「いきいき高齢者世代」のライフステージごとに目標を設定し、「八千代市第2次健康まちづくりプラン推進・評価委員会」及びライフステージ別の部会にて推進・評価を行いました。

判定区分と判定基準

それぞれの評価は以下の基準により行いました。

なお、分析可能な指標については母比率の差の検定を行い、その他の指標については増減幅にて判定を行いました。

A (達成)	現状値が目標値を既に達成している
B (改善傾向)	現状値が目標値に達していないが、基準値と比較すると改善している (検定を行っていない場合：5ポイント以上の増減で改善している)
C (横ばい)	現状値が基準値に比べ、変わらない (検定を行っていない場合：5ポイント以上の増減がない)
D (後退)	現状値が基準値に比べ、悪化している (検定を行っていない場合：5ポイント以上の増減で悪化している)
N (判定不能)	調査内容の違いなどにより判定ができない

すこやか親子世代の評価

【行動目標④ 親は子どもの安全を保障し、健やかな成長発達を促します】

指標	基準値 (平成23年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和3年度)	評価
3歳児におけるむし歯のない人の割合	76.1%	89.0%	80%	A
12歳児におけるむし歯のない人の割合	56.3%	73.6%	65%	A
12歳児における1人平均むし歯数	0.95 歯	0.4 歯	0.5 歯	A
フッ素配合歯みがき剤を使っている(小学生親は子どもに使わせている)人の割合	小学生保護者			
	52.9%	66.5%	80%	B
	中学生			
	42.0%	51.2%	80%	B
	1歳6か月児保護者			
	60.7%	85.1%	70%	A
定期的に歯科健診を受けている人(小学生親は子どもに受けさせている)の割合(学校歯科健診以外にも受けている割合)	小学生保護者			
	52.7%	65.3%	65%	A
	中学生			
	20.6%	33.6%	30%	A

最終評価及び次期計画に向けて

歯科に関する項目において、全て目標達成または改善傾向でした。

特に3歳，12歳児のむし歯のない人の割合や，幼児期の歯みがき剤使用者の割合は，目標値を大きく超えました。

今後も，子どもの健康に関する知識を提供し，子どもの健やかな成長を支援していきます。

はつらつ成年世代の評価

【行動目標⑤ 歯と口腔の状態に不安をかかえることなく，おいしく食べます】

指標	基準値 (平成23年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和3年度)	評価
60歳で24本以上自分の歯を有する人の割合	83.3%	100%	90%以上	A
定期的に(1年に1回以上)歯科健診を受けている人の割合	36.1%	49.3%	60%以上	B
ふだん，歯や口の健康のために，特に取り組んでいることがない人の割合	23.0%	15.4%	減少	A

最終評価及び次期計画に向けて

歯や口腔に関する事業実施については，概ね予定通りに実施することができました。

市民意識調査の結果では，「定期的に歯科健診を受けている人の割合」が有意に上昇していましたが，目標値には到達していませんでした。

次期計画においても引き続き歯周病を予防し歯の喪失を防ぐため，定期的な歯科健診受診を促すための方策を推進します。

いきいき高齢者世代の評価

【行動目標③ 歯と口腔の健康を保ち，おいしく食べます】

指標	基準値 (平成23年度)	現状値 (令和3年度)	目標値 (令和3年度)	評価
食事に支障なく噛める高齢者の割合	57.1%	57.9%	70%以上	C
80歳で20本以上自分の歯を有する人の割合	75.1%	72.3%	増加	C
定期的に(1年に1回以上)歯科医院で歯科健診を受けている高齢者の割合	50.4%	57.6%	65%以上	B
日に2回は時間をかけて，ていねいに歯みがきをする高齢者の割合	40.0%	36.3%	50%以上	C
舌の体操やだ液が出やすくなるマッサージを行っている高齢者の割合	5.1%	8.8%	20%以上	C

最終評価及び次期計画に向けて

「食事に支障なく噛める」高齢者の割合は57.9%と目標としていた70%には到達しませんでした。たんぱく質等の必要な栄養素を摂取し低栄養状態を予防するためには、口腔機能の維持が大切であることから、引き続き、歯を失う原因であるむし歯や歯周病の予防方法の普及啓発、オーラルフレイル[※]対策を実施していきます。

また、「舌の体操やだ液が出やすくなるマッサージを行っている高齢者の割合」も目標達成には至っておらず、だ液でるでる体操や口腔機能向上のための体操の普及啓発を強化していくことが必要です。次期計画においては、市オリジナルの口腔機能向上のための体操（オーラルフレイル予防体操）を作成し、やちよ元気体操応援隊グループ支援や「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」等で周知し、オーラルフレイル対策を推進していきます。